

従業員と警備員で繋いだ救命の輪



令和5年9月27日（水）、豊島消防署は適切な応急救護活動を行った6名の方に「消防総監感謝状」を伝達しました。

令和5年9月、豊島区上池袋二丁目5番1号健康プラザとしまのエレベーター内で突然倒れた男性に対して、従業員の青木 文子さん、岩藤 紀子さん、田中 義隆さん、大久保 昌彦さん、辻 健治さんと警備員の井上 保さん、が連携し、119番通報、心肺蘇生、AEDの使用により、「救命の輪」が繋がれ、消防隊、救急隊に引継ぎ、救命されたものです。

受賞された方からは「突然起きた出来事でしたが、勇気を出して、居合わせた従業員達と協力し、スムーズに連携ができました。」「応急手当のやり方を日頃からよく確認することの重要性を実感できることができ、応急手当の大切さを家族や友人などの多くの人達に広めていきます。」「今回、同じ建物で仕事をする仲間を助けることができ、本当に良かったと実感しています。」と話されました。